

1. 図書館のあゆみ

明治44年（1911）	7月	・東郷慎十郎氏等の寄付を基に、町立図書館として、鎌倉小学校（現在の第一小学校）内に設立
大正12年（1923）	9月	・関東大震災で倒壊のため閉館、のち、第一小学校の教室を使用
昭和11年（1936）	5月	・間島弟彦氏未亡人愛子さんからの建設費寄付により、大町蔵屋敷の御用邸跡に新館設立（10月開館）
19年（1944）	3月	・軍に接収され閉館
21年（1946）	6月	・図書館再開
25年（1950）	7月	・図書館法施行にあたり、「鎌倉図書館」を「鎌倉市図書館」に改称・
37年（1962）	6月	団体貸出開始
45年（1970）	6月	・腰越貸出所開設
46年（1971）	10月	・資料の複写サービス開始
	12月	・大船子ども文庫開始
48年（1973）	4月	・深沢子ども文庫開始
	10月	・中央図書館開館（10月1日）
	12月	・中央図書館に視聴覚ライブラリー開設、16ミリ映写機類の貸出開始・大船貸出所開設
50年（1975）	11月	・中央図書館で「おはなし会」開始、52年から全館で定期的実施
52年（1977）	10月	・視覚障害者への録音図書郵送貸出サービス開始
55年（1980）	5月	・深沢図書館開館（深沢行政センター内）、深沢子ども文庫廃止
57年（1982）	10月	・大船図書館開館（大船行政センター内）、大船貸出所、大船子ども文庫廃止
61年（1986）	8月	・中央図書館でCD貸出開始
62年（1987）	4月	・玉縄図書館開館（玉縄行政センター内）
平成2年（1990）	4月	・中央図書館で市販ビデオ貸出開始
		・中央図書館に外国語図書コーナー開設
3年（1991）	4月	・祝日開館（試行）開始
	6月	・神奈川県図書館情報ネットワーク（KLネット）加入
4年（1992）	4月	・祝日開館実施
7年（1995）	7月	・市内全館コンピュータシステムオンライン導入
8年（1996）	10月	・夜間開館試行（平日の木・金曜日、17：00～19：00）
9年（1997）	8月	・大船図書館にAV資料配置
	11月	・第1回「リサイクル図書展」開催（平成11年度から「図書リサイクル」に名称変更、平成18年度まで毎年1回開催）
10年（1998）	2月	・投書箱「利用者の声」設置
	10月	・藤沢市図書館との広域利用実施
		・市のホームページに図書館のページを開設
11年（1999）	3月	・腰越図書館開館（腰越行政センター内）、AV資料配置
	3月	・夜間開館本施行（平日の木・金曜日、17：00～19：00）

	4月	・「おひざにだっこのおはなしかい」各館で開催、以後各館で定期的に実施
	7月	・図書館所蔵資料のインターネット検索サービス開始
12年（2000）	3月	・「鎌倉市図書館サービス計画」策定
	8月	・玉縄図書館にA V資料配置
	11月	・子ども読書年記念「おはなし講座」開催
13年（2001）	4月	・定期休館日を月1日とする、開館日の拡大
	7月	・「としょかんいんになってみよう！（一日図書館員）」開催始まる
	8月	・国立国会図書館総合目録ネットワークへの参加承認される ・深沢図書館にA V資料配置
	9月	・「鎌倉市図書館資料管理方針」が図書館協議会の討議を経て、策定
	11月	・第一期「おはなしボランティア養成講座」開催
	12月	・市内各図書館にC D－R O M検索用パソコン導入
14年（2002）	5月	・J R鎌倉駅構内に返却ポストを設置
	10月	・中央図書館に検索用インターネットコーナーを設置
15年（2003）	4月	・各地域館に外国図書配置
	7月	・「図書館子ども会議」（子ども利用者懇談会）開催
	10月	・鎌倉女子大学との協力開始
16年（2004）	3月	・コンピュータシステム更新、携帯電話からの蔵書検索サービス開始、館内の検索用端末（OPAC）からの予約受付開始等
	4月	・インターネットでの予約受付開始 ・マンガの貸出開始
	10月	・DVD貸出開始 ・「鎌倉市図書館資料管理基準」が図書館協議会の討議を経て、策定
17年（2005）	4月	・子ども向け行事でのボランティアとの協働開始
	7月	・ブックスタート開始
	12月	・「図書宅配便」「障害のある方への無料郵送サービス」開始
18年（2006）	10月	・地域図書館に検索用インターネットコーナーを設置 （腰越図書館のみ11月設置）
19年（2007）	1月	・中央図書館に「からだといのちの図書コーナー」を設置
	4月	・J R大船駅のブックポスト運用開始
	10月	・オンラインデータベースの導入 ・デジターの郵送貸出開始
20年（2008）	2月	・「よむべえ」中央図書館に導入 ・鎌倉市子ども読書活動推進計画策定
	3月	・中央図書館多目的エレベーターの設置
	4月	・図書リサイクルコーナーを全館に設置
	9月	・図書館協議会市民委員の公募開始
	10月	・市民協働事業 ファンタスティック☆ライブラリー2008を開催
21年（2009）	9月	・図書の貸出点数を10冊に拡大
	10月	・コンピュータシステム更新
	11月	・市民協働事業 ファンタスティック☆ライブラリー2009を開催 ・「あかちゃんと楽しむおはなしかい」初開催。以後各館で年2回開催
22年（2010）	11月	・デジター再生機器「プレクストーク」貸出サービス開始

23年（2011）	12月	・電子図書館の実証実験実施（23年3月まで）
	3月	・東日本大震災：協働事業2件中止、夜間開館の一時中止
	7月	・鎌倉市図書館開館100周年記念式典開催
	9月	・ツイッター開始
	10月	・「図書館振興基金条例」交付
24年（2012）	3月	・百年史資料、所蔵貴重資料整理事業

平成24年度・一年のあゆみ

- | | |
|-----|--|
| 4月 | <ul style="list-style-type: none"> ・子ども読書週間展示（4月23日～5月12日） ・寄贈された政党新聞閲覧開始 |
| 5月 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度団体貸出利用者懇談会 |
| 6月 | <ul style="list-style-type: none"> ・「ブックカーニバル in 鎌倉」へ写真展示・協力・出店 ・展示「泣いている本たち」（中央図書館、一部展示市内各館） ・本の修理講座開始（中央図書館）＊この後年度内3回開催 |
| 7月 | <ul style="list-style-type: none"> ・展示・シンポジウム「昭和初期の理想郷 古き良き鎌倉山の姿」 ・展示「鎌倉市図書館百年史資料展」（献呈本、貴重本等）&ギャラリートーク（中央図書館） ・平成24年度第一回図書館協議会 ・鎌倉駅地下道ギャラリー展示「昭和の夏 鎌倉カーニバル」 |
| 8月 | <ul style="list-style-type: none"> ・「としょかんいんになってみよう（一日図書館員）」全館 ・ファンタスティック☆ライブラリー101 ・平成24年度第2回図書館協議会 |
| 9月 | <ul style="list-style-type: none"> ・「ぬいぐるみのおとまり会」（中央図書館） |
| 10月 | <ul style="list-style-type: none"> ・「中学生によるおはなし会」（大船図書館） ・「鎌倉高校図書館員による図書館展示」（腰越図書館） |
| 11月 | <ul style="list-style-type: none"> ・「本の海サポーターズ交流会」（深沢図書館）。 ・「鎌倉市図書館おたから展示ギャラリートーク」（中央図書館） ・あなたの選ぶイチオシキャラを募集、リーフレット作成。 ・平成24年度第3回図書館協議会 ・「高校生による！冬のおはなし会」（腰越図書館） |
| 12月 | <ul style="list-style-type: none"> ・広告主募集開始（WEB、雑誌カバー、図書館カレンダー等） ・ライブラリーカフェ「腰越漁師物語」（腰越図書館） |
| 1月 | <ul style="list-style-type: none"> ・図書館福袋の貸出し。 |
| 2月 | <ul style="list-style-type: none"> ・16ミリ映写機操作技術認定講習会 ・中学生おススメの本ポップ大賞募集、展示、投票、大賞決定。 ・神奈川両県立図書館見学会 |
| 3月 | <ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉駅地下道ギャラリー展示「鎌倉の谷戸を記録する」 ・「第二次鎌倉市子ども読書活動推進計画」策定。 ・平成26年度第4回図書館協議会 |

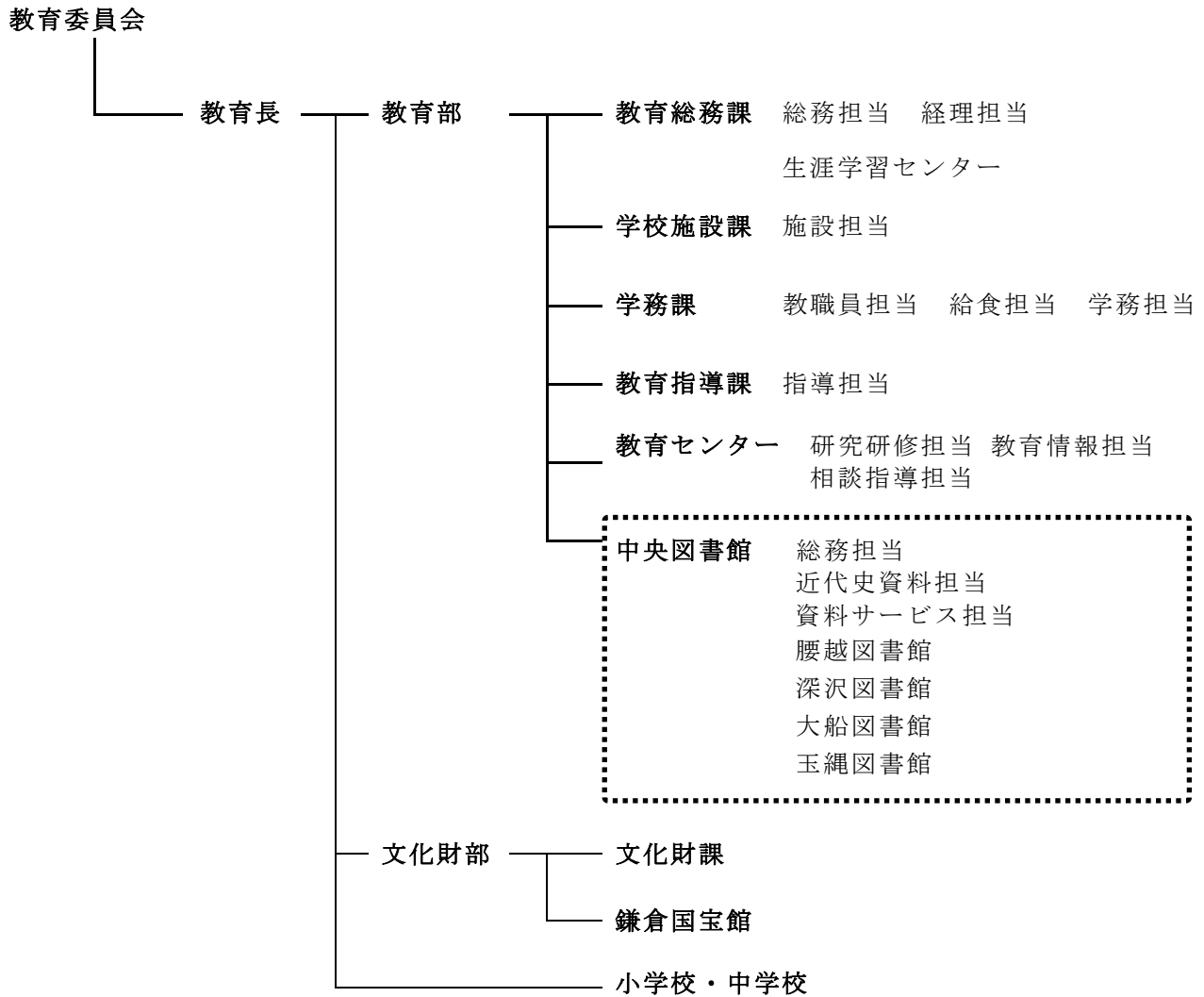
＊平成24年度から、図書館協議会は年2回開催から4回開催へ変更となりました。

2. 機 構

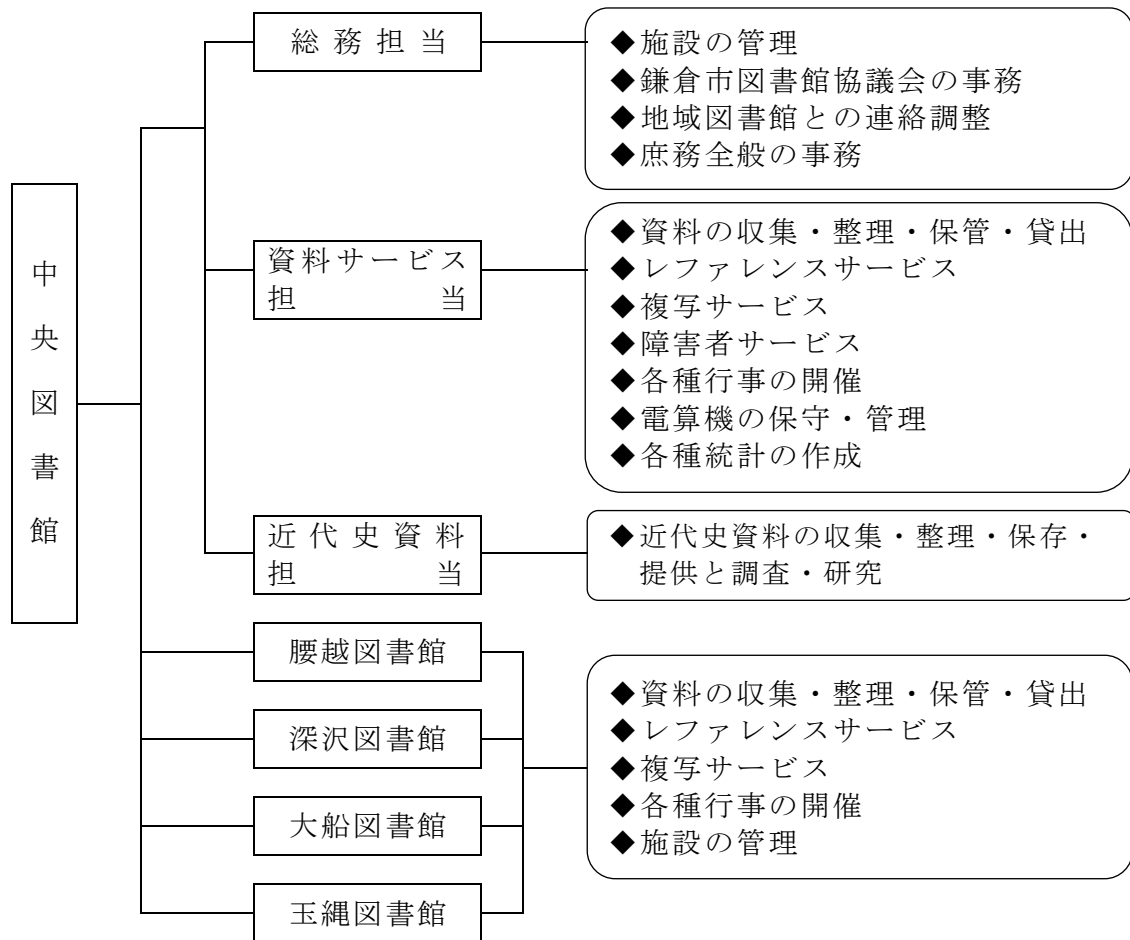
(1) 教育委員会機構図

図書館は、市長とは独立した執行機関である教育委員会教育部に属する機関です。

(平成25年4月1日現在)



(2) 図書館の組織・主な事務内容



(3) 図書館職員

(平成25年4月1日現在)

	職 員	嘱 託 員
中央図書館長	1	
総務担当	2 (2)	1
資料サービス担当	7	14
近代史資料担当	1 (兼務1)	3
腰越図書館	3	6
深沢図書館	3	5
大船図書館	3	6
玉縄図書館	3 (1)	6
計	23人 (3人)	41人

* (2) は再任用職員数、2人で職員1人分の勤務、玉縄の(1)は休業中

* 近代史資料担当は資料サービス担当のうちの1人と兼務。

* 職員総数のうち司書有資格者18人、図書館業務嘱託員総数のうち司書または司書補有資格者29人

(4) 図書館内各種委員会

鎌倉市図書館では、各種サービスや運営方法を各種委員会で検討・実施しています。

① 館長会議

図書館運営に関わる決定機関です。各種会議の報告や各館の情報交換も行っています。市内5館の館長及び係長以上の職員で構成されています。

② 児童奉仕委員会

0歳からの子どもと、子どもを取り巻く大人へのサービス全般を担当しています。

- ・おはなし会、おひざにだっこのおはなしかい等の定例行事を開催しています。
- ・年齢別におすすめする本のリストを作成、発行、配布しています。
- ・学校との連携を進めています。おはなし会、ブックトークなどの訪問サービスや、教職員・PTAが主催する講座、研修会に講師を派遣する等、講座・講演会を実施しています。
- ・市役所の関連課と連携してブックスタート事業を実施しています。
- ・子どもへのサービスをより充実させるため、ボランティアを養成しています。

③ 資料管理委員会

図書・雑誌・新聞・AV等の資料の管理を行う委員会です。

- ・「鎌倉市図書館資料管理方針」（平成13年9月）および「鎌倉市図書館資料管理基準」（平成16年10月・22年4月一部改定）に基づき、資料の収集・保存・除籍等の基準の策定、見直し、管理を行います。
- ・雑誌・新聞の新規購入・寄贈受入・中止について検討をします。

④ 運用委員会

よりよい図書館サービスのため、サービス提供の方法等を検討する委員会です。

- ・貸出・登録・予約等のサービスやカウンター業務がスムーズに行われるように運用方法を検討します。
- ・「図書館の自由」に係わる問題が起きたとき、対応を検討します。
- ・個人情報保護の側面から図書館業務を検討します。

⑤ PR委員会

より図書館に親しんでもらうため、広報活動を行う委員会です。

- ・館報「かまくら図書館だより」や「テーマ別本のリスト」を編集・発行しています。
- ・図書館利用を促進するための配布物の作成、行事の企画・実施をしています。
- ・ホームページ、ツイッターの企画、更新をしています。

⑥ YA委員会

ヤングアダルト層に図書館や本に親しんでもらうための企画を立案・実施する委員会です。コーナーの整備やイベント企画をしています。

3. 図書館協議会

図書館協議会は、図書館の管理運営に関し図書館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館サービスについて館長に意見を述べる機関です。

図書館法の定めにより設置され、社会教育関係者、教育関係者、学識経験者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、市民公募による者の5名で構成されています。

開催日時	主な審議・報告事項
第1回 平成24年7月24日(火) 14:00～17:00	・図書館協議会設置条例の改正について ・鎌倉駅ブックポストについて ・鎌倉市第2次図書館サービス計画について（審議）
第2回 平成24年10月23日(火) 14:00～17:00	・図書館協議会委員の選考について ・第二次鎌倉市子ども読書活動推進計画について ・鎌倉市第2次図書館サービス計画について「方向性と方針」について答申
第3回 平成24年12月21日(金) 13:00～15:00	・委員長等の選出 ・第二次鎌倉市子ども読書活動推進計画について ・県内図書館の動向について ・鎌倉市第2次図書館サービス計画について（審議）
第4回 平成25年3月26日(火) 10:00～12:00	・平成24年度重点事業の報告と成果について ・平成25年度予算・重点事業について ・鎌倉市第2次図書館サービス計画についてアンケート調査項目の検討（審議）

任期	氏名	職業又は役職	選出区分
H22.12.15 ～ H24.12.14 H24.12.15 ～ H26.12.14	田中 康 正	鎌倉女子大学教授	学識経験者
	杉 本 晴 子	作家	社会教育関係者
	兵 藤 嘉 子	鎌倉市立第二小学校校長	学校教育関係者
	阿 曾 千代子 ～H24.12.14	「図書館とともだち・鎌倉」代表	社会教育関係者
	増 井 久 之 ～H24.12.14	(元香川大学大学院教授)	市民公募
	杉 山 恵 子 H24.12.15～	(鎌倉市おはなしボランティア)	家庭教育の向上に資する活動を行う者
	和 田 安 弘 H24.12.15～	(元川崎市立図書館司書)	市民公募

4. 鎌倉市図書館一覧

	中央図書館	腰越図書館	深沢図書館
所在地	〒248-0012 御成町20-35	〒248-0033 腰越864 腰越行政センター内	〒248-0022 常盤111-3 深沢行政センター内
☎ F A X	☎ 25-2611 FAX 24-6544	☎ 33-0711 FAX 33-0724	☎ 48-0022 FAX 43-5676

開館年月	(旧) 1911(M44) 7月 (新) 1974(S49) 10月	1999(H11) 3月	1980(S55) 5月
------	---------------------------------------	--------------	--------------

対象地域人口 (H25. 4. 1現在)	46,817人	24,871人	34,286人
-------------------------	---------	---------	---------

面積 積	一般コーナー	575㎡	240㎡	380㎡
	児童コーナー	143	130	126
	ブラウジング コーナー	56	35	42
	A Vコーナー	58	30	—
	書庫	314	92	168
延床面積(その他含)		2,539㎡	684㎡	820㎡

閲覧席	一般	104	16	12
	児童	18	7	6
	その他	11	29	22
	計	133席	52席	40席

※その他…ソファー、長イスなど

大 船 図 書 館	玉 縄 図 書 館	計
〒247-0056 大 船2-1-26 大船行政センター内	〒247-0072 岡 本2-16-3 玉縄行政センター内	
☎ 45-7710 FAX 43-5711	☎ 44-2218 FAX 43-5722	

1982 (S57) 10月	1987 (S62) 4月
----------------	---------------

4 2 , 4 1 0 人	2 5 , 2 7 6 人	1 7 3 , 6 6 0 人
---------------	---------------	-----------------

1 9 0 m ²	2 2 4 m ²	1 , 6 0 9 m ²
1 3 5	1 2 3	6 5 7
4 0	7 2	2 4 5
8	—	9 6
—	—	5 7 4
4 6 2 m ²	5 1 2 m ²	5 , 0 1 7 m ²

6	1 7	1 5 5
1 2	1 2	5 5
2 2	2 0	1 0 4
4 0 席	4 9 席	3 1 4 席

5. 平成24年度図書館費（含む 25年度予算）

(1) 予算・決算

単位：千円

		平成24年度 (当初予算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (当初予算)
一般会計		55,269,698	54,059,445	58,082,000
教育費		5,082,843	4,800,724	6,489,121
社会教育費		1,790,869	1,630,419	3,073,277
図書館費		136,611	134,454	134,631
図書館費 内訳	報酬	46,072	45,672	48,128
	賃金	317	627	298
	報償費	10	5	10
	旅費	2,816	2,143	3,104
	需用費	43,558	43,268	39,549
	内訳	消耗品費	34,318	29,095
		燃料費	694	887
		印刷製本費	467	224
		光熱水費	5,557	5,557
		維持修繕料	2,298	3,629
		備品修繕料	114	100
		車輛修繕料	110	57
	役務費		2,782	2,668
	内訳	電信料	1,102	1,038
		運搬料	70	70
		手数料	1,548	1,498
		保険料	62	62
	委託料		13,344	14,303
	使用料及び賃借料		27,124	25,983
	備品購入費		0	0
	負担金補助及び交付金		87	87
	積立金（図書館振興基金）		501	501

予算の主な内訳

- 一般会計：鎌倉市全体の予算
 - 報酬：図書館協議会委員・各館の図書館業務嘱託員への報酬など
 - 報償費：図書館行政協力者への謝礼など
 - 需用費：予算一覧表内訳のとおり
 - 消耗品費：この中に図書館資料（本・雑誌・新聞・ＡＶ資料）や、文具類の購入費が含まれます。
 - 印刷製本費：郷土資料の製本、予約連絡ハガキの印刷費など
 - 役務費：予算一覧表内訳のとおり
 - 手数料：図書館建物の維持管理のための経費。各種機器の保守点検など
 - 使用料及び賃借料：主に図書館の全コンピュータ・システム稼働の費用
 - 負担金補助及び交付金：日本図書館協会や神奈川県図書館協会の分担金など
 - 積立金：鎌倉市図書館振興基金への積立金など（寄附金額）
- ※図書館費には、一般職員の給料、職員手当などは含まれていません。

(2) 資料購入費

図書館の予算のうち、資料購入費は次のとおりです。

図書資料には、図書のほか雑誌、新聞の購入費等を含みます。

単位：円

		平成24年度		平成25年度
		当初予算	決 算	当初予算
中央図書館	図書資料費	13,747,000	13,195,785	13,280,552
	ＡＶ資料費	600,000	577,827	500,000
	計	14,347,000	13,773,612	13,780,552
腰越図書館	図書資料費	4,200,000	4,291,304	3,200,000
	ＡＶ資料費	—	—	—
	計	4,200,000	4,291,304	3,200,000
深沢図書館	図書資料費	4,430,000	4,564,166	3,430,000
	(うち団体貸出)	(350,000)	(341,651)	(300,000)
	ＡＶ資料費	—	—	—
	計	4,430,000	4,564,166	3,430,000
大船図書館	図書資料費	4,720,000	4,755,255	3,720,000
	ＡＶ資料費	—	—	—
	計	4,720,000	4,755,255	3,720,000
玉縄図書館	図書資料費	4,100,000	4,412,504	3,100,000
	ＡＶ資料費	—	—	—
	計	4,100,000	4,412,504	3,100,000
全館計	図書資料費	31,197,000	31,219,014	26,730,552
	ＡＶ資料費	600,000	577,827	500,000
	計	31,797,000	31,796,841	27,230,552

6. 平成24年度の主な事業実施報告

(1) 第二次鎌倉市子ども読書活動推進計画の策定

平成20年2月に策定された「鎌倉市子ども読書活動推進計画」は、24年度が計画の最終年にあたるため、「第二次鎌倉市子ども読書活動推進計画」を策定しました。

第一次計画を実施していく中で、市民協働事業やブックスタート事業、学校や地域への訪問サービス、小中学校への学習パックの貸出・搬送や小学校全校に学校図書館専門員の配置など、一定の成果は得られましたが、学校図書館の蔵書データ化や読書活動がしにくい子どもへの支援等引き続き取り組まなくてはならない課題も明らかになりました。

そこで、この第二次計画では引き続き、家庭・地域、学校、図書館・行政が子どもたちの豊かな読書環境を整備していくことを目標としながら、「本はともだち 本と人の輪づくり」という新たなキャッチフレーズのもと、本を通して人間関係の輪が広がっていく取組みを推進し、子どもたちのコミュニケーション力を高める素材として、本が役立つことを願い策定いたしました。

計画の策定にあたっては、平成24年10月～11月にかけてパブリックコメントを通して市民の皆様から貴重なご意見をいただきました。また、策定委員会には市民委員の皆様が労力を惜しまず参加してくださいました。第一次計画同様、市民と行政が協働で作りあげることができました。

この計画の位置づけは・・・

- (1) この計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年）」第9条の規定に基づいて策定された国の基本的な計画や県の推進計画を基本とし、鎌倉市がこれまで実践してきた活動の成果を踏まえ、策定します。
- (2) この計画は、「第3次鎌倉市総合計画第2期基本計画後期実施計画」「鎌倉市次世代育成きらきらプラン」「かまくら教育プラン」「鎌倉市図書館サービス計画」など、他の行政計画とも整合を図り、計画を策定します。
- (3) この計画は、第一次計画の基本的な考えを継承し、取組み事業について検証し、成果と課題を整理し、今後の5年間の子どもの読書環境の整備のために、策定します。

計画の対象：0歳からおおむね18歳までの子どもとその保護者、子どもの読書活動推進に関わるボランティア・教職員・行政の関係者などとしします。

計画の期間：第二次計画は、平成25年度から平成29年度までの5年間を計画の期間とし、平成29年度を目途に検証・評価を行い、その課題に応じて見直しを行います。

推進体制：この計画を具体的に推進していくために設置した「かまくら読書活動支援センター」と「鎌倉市子ども読書活動推進連絡会」（以下「推進連絡会」という。）を引き続き発展・充実させていきます。

(2) 近代史資料収集体制の充実

中央図書館に、近代史資料室を所管する「近代史資料担当」を設置し、担当係長を配置（兼務）し、体制の強化を図りました。

さらに、従来から行っている、近代（江戸時代末期から明治・大正・昭和40年代くらいまで）の鎌倉に関する資料の収集・整理・保存・提供、及び調査・研究する事業に加え、「市史編さんに関する事務」を補助執行することになり、歴史的公文書の選別基準の作成や行政文書の仕分け業務などの市史編さんのための資料収集の業務も行っています。（10．近代史資料室の事業で詳報）

また、図書館振興基金による鎌倉に関する貴重な資料の収集のための情報収集を進めています。

(3) 第2次鎌倉市図書館サービス計画

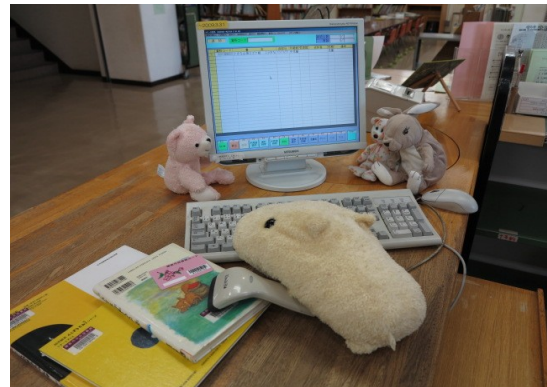
平成24年10月に開催された第2回図書館協議会においてサービス計画の「方向性と方針」について答申がされ、その後平成25年度中の策定をめざし、具体的な計画案の作成を進めています。

(4) 図書館振興事業

関係団体・市民との協働を図りながら次のような行事を行ないました。

○ぬいぐるみのおとまり会

4歳児から小学生のお子さんとぬいぐるみが対象。一緒におはなし会に参加した後、ぬいぐるみを図書館にお泊りさせる催しです。お泊りしたぬいぐるみたちは、夜の図書館でおはなし会をしたり、本の片づけを手伝ったりして、子どもたちへのおすすめ本を探します。図書館では、その様子をカードにしてプレゼントします。



○おたから展示交流会

平成23年度に鎌倉市中央図書館が開館百周年を迎えたことに伴い、国の緊急雇用創出事業の補助金を使って、所蔵する貴重な資料をリスト化し、新たな百年に向け保存手当を施す事業を実施しました。それら整理された資料を多目的室に展示し、職員が解説をしました。



○腰越漁師物語

図書館には鎌倉の漁業についての質問が数多く寄せられますが、鎌倉の現在の漁業についての資料が不足していたため、腰越業協同組合の協力のもと、組合長他3人を講師に漁業の今昔を語っていただきました。カフェ形式で行い、70人が参加。漁業や漁師生活・海の変化など、様々なお話が聞けました。



○昭和初期の理想郷：古き良き鎌倉山シンポジウム

昭和初期、鎌倉山住宅地は別荘生活と都心に通う近代生活の両面の可能性を併せもって計画され、理想的住宅地をつくろうとした創成期には、住宅地会社の様々な試み、それを受け入れ発展させた住民の意識など、現在のまちづくりにも示唆を与える点が多く見られます。今回は講演ほか、当時を知る住民の方々に座談会をしていただきました。



○本の海サポーターズ交流会

子ども読書活動事業支援のために、学校や地域で読み聞かせ等の活動をしている人を対象に、情報交換をおこなう交流会です。当日は、小学校や幼稚園、地域での活動内容の事例発表とお互いの活動内容について話し合いをしました。



○本の修理講座

図書館利用のマナー向上を進めるために始まった本の修理講座ですが、回数を重ね参加者の熟練度が増すにしたがって、図書館の蔵書の修理のための市民の力の活用という側面も出てきました。



7. 平成25年度の重点事業項目

新規事業

- (1) 図書館所蔵の関東大震災資料の整理と公開
 - ・資料のリスト化とリストの公開、および展示会を開催します。
- (2) 子どもの読書環境の充実
 - ・第二次子ども読書活動推進計画の実施。第二次計画の開始年として、計画のパンフレットの作成・配布を行います。
 - ・第二次子ども読書活動推進計画策定記念行事を開催します。
 - ・地域性を生かし地元書店・地元出版社と連携し、子どもの読書活動を支援します。
- (3) 大船図書館リニューアル
 - ・耐震化工事およびレイアウト変更を行って、安心安全で使いやすい図書館を目指します。

継続事業

- (1) 第二次鎌倉市図書館サービス計画の策定
 - ・平成25年度中に策定し、図書館のビジョンを広く市民に伝えます。
- (2) 次期図書館システムの検討
 - ・平成26年度予定の図書館情報システムの更新に向けて、サービスを実現するために必要なシステムの機能を決定し仕様書を作成します。
- (3) 市民協働による図書館振興事業
 - ・市民・関係団体による実行委員会形式でのファンタスティック☆ライブラリー（図書館まつり）の開催等、図書館運営への市民参加・協働を進めます。